

診療担当医表 誠に勝手ながら12月27日～1月4日の間 休診とさせていただきます 平成26年11月現在

	1診	2診	3診	4診	5診	
月	午前	—	竹本 範彦	藤永 泰宏	—	六浦 聖二
	午後	—	竹本 範彦	江川 徹	—	六浦 聖二
火	午前	田中 啓介 第2・4休診	竹本 範彦	門元 俊樹	山本 さくら	—
	午後	—	竹本 範彦	—	門元 俊樹 第1・3休診	—
水	午前	—	竹本 範彦	藤永 泰宏	—	六浦 聖二
	午後	—	竹本 範彦	江川 徹	—	六浦 聖二
木	午前	—	竹本 範彦	江川 徹	山本 さくら	六浦 聖二
	午後	—	竹本 範彦	藤永 泰宏 第1休診	大出 佳寿	六浦 聖二 第3休診
金	午前	—	竹本 範彦	藤永 泰宏	大出 佳寿	—
	午後	—	山中 崇	竹田 修司 第2・4休診	—	—
土	午前	—	竹本 範彦 第2・4休診	竹本 育聖 第1のみ 渡邊 利泰 第3のみ	—	—
	午後	—	—	—	—	—

循環器内科	竹本 範彦・藤永 泰宏・竹田 修司
内科	六浦 聖二・門元 俊樹・山本 さくら
リハビリテーション科	山中 崇
呼吸器内科	江口 誠一
消化器内科	江川 徹
神経精神科	田中 啓介
内分泌内科・腎臓内科	大出 佳寿
総合内科	渡邊 利泰・竹本 育聖

■診療時間
午前9時～午後5時30分
土曜日 午前中
■休診
第2・4土曜日
日曜日・祭日（急患はこの限りではありません）



● 当院の基本方針

地域住民の健康の増進を図り、信頼される病院を目指し地域医療に貢献いたします

1. 地域に根ざした医療

3. 患者様中心の医療

5. 健全な病院経営基盤の確立

2. 医療レベルの向上

4. リハビリテーション機能の充実

竹本病院 ご案内



交通案内
土佐くろしお鉄道
中村駅より

タクシー
約5分

徒歩
約15分

患者様の権利章典

当院では、ご利用の皆様へより良い医療をやすく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただけるよう、努力しています。そうした私達の医療活動の前提として、患者様には以下に掲げられるような、「患者様の権利」があり、私達医療従事者にはそれを守り発展させる義務があると考えています。

あなたには、人格を持った個人として尊重される権利があります。

あなたには、必要かつ最善の医療を平等に受ける権利があります。

あなたには、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。

あなたには、あらゆる医療記録に記録されたご自分に関する情報の提供を求める権利があります。

あなたの医療上の個人情報、およびプライバシーは保護される権利があります。

竹本病院 広報 第34号 2014年11月発行
〒787-0015 高知県四万十市右山 1973番地2
電話:0880-35-4151 FAX:0880-35-4155 発行・編集
E-mail: th-takemoto@poem.ocn.ne.jp 竹本病院広報委員会
編集長: 杉本 一等



医療法人創治 竹本病院

検索

スタッフ
募集中

URL <http://www12.ocn.ne.jp/~takemoto>
詳しい情報については、ホームページでご覧下さい。

広報誌



TAKEMOTO HOSPITAL

菜の花だより

あなたのための医療でありたい



第34号
2014年11
発行

医療法人創治 竹本病院

防災意識をもとう！

災害時炊き出し訓練を行いました

平成二十三年三月十一日に起きた東日本大震災。それ以前から当院でも防災訓練や非常食の備蓄などの災害対策をしていましたが、震災以降、さらに防災に対する意識が変化したことを実感しています。

当院では南海大地震などの災害を想定して、飲料水や非常食等の備蓄に努め、入院患者さんのもとより、職員全体の飲食物を補えるようにしています。そこで今回は災害時炊き出し訓練をおこないました。

～訓練工程～

- ・職員の非常備蓄品の確認をする。
- ・A、Bチーム各8名に分かれ、炊き出し訓練をする。（カレーライスとおにぎりを作る。）

条件・・・屋外で灯油式ガスコンロ、一斗缶+炭、ガスコンロを利用する。水道は使用できる。厨房は使えないとする。
（今回は、カレー皿、スプーン、麦茶は事前に用意しています。）

《各班で実施すること》
ご飯を作るための一斗缶の火熾し、ガスコンロのセッティングをする。

ポリ袋を利用して米を炊く準備。
0.5合/袋（A：無洗米5袋 B：白米5袋）

残りの米を羽釜で炊く。※ポリ袋米使用

《A、Bチーム合同ですること》
灯油式ガスコンロでインスタントカレーを温める。
カレーライス盛り付け、おにぎり（塩味）を作成する。

職員の災害時非常備蓄品を確認



炊き出し訓練の様子

ポリ袋が鍋からはみ出ると熱で溶けるので注意する。

皿にラップをしてカレーライスを盛り付け水の節約をしているチームもあった。



おにぎりは、軍手をして手袋を付け、作るなど工夫した。

無事においしいカレー&おにぎり完成！みんなで試食！



当日、風はあったものの、段ボールで風除けを作るなど各チーム工夫していました。また火熾しでは火がすぐ着いたので、作業がスムーズに行っていました。参加したスタッフからは「カレーがアツアツで美味しかった。本当に災害で、停電や建物損壊にでもなっていると、寂しい気持ちになると思われるが、温かい食事があれば、少しは救われると思う」といった感想もありました。今回の訓練ではチームワークよく予定時間より早く終了できました。今後も災害時のいろいろな状況を想定した訓練を行い、「自助、援助」のスキルアップを目指します。

スタッフ募集

あなたの笑顔が
活かせる職場



医療法人創治 竹本病院

ワークライフバランス

当院では教育システム、育児支援の充実、多様な勤務形態を導入して、働きやすい職場作りを目指し、看護ケアの質向上へ取り組むよう取り組んでいます。

自然豊かな西南地域

当院は高知県西南部の四万十川に面しており、周辺にはサーフィンや釣りなどが楽しめるスポットが数々ある為、休日などを利用してリフレッシュできます。

充実した福利厚生

特別休暇制度有り。
結婚しても働きやすい環境です。
（香託託児所有り）
長期勤務者には年1度ハワイ研修もあります。

募集職種

医師・看護師・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士
放射線技師

病院見学随時募集中



インフルエンザに気をつけましょう

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては重症化するおそれもあります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。インフルエンザの感染を広げないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。



インフルエンザの怖さ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスが体内に入り込むことによって起こります。インフルエンザのウイルスにはA型、B型、C型と呼ばれる3つの型があり、その年によって流行するウイルスが違います。これらのウイルスのうち、A型とB型の感染力はとて強く、日本では毎年約1千万人、およそ10人に1人が感染しています。インフルエンザにかかっても、軽症で回復する人もいますが、中には、肺炎や脳症などを併発して重症化してしまう人もいます。

重症化する危険が高い人

高齢者・幼児・妊娠中の女性・持病のある方（喘息のある人、慢性呼吸器疾患（COPD）、慢性心疾患のある人、糖尿病など代謝性疾患のある人 など）

感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」

インフルエンザがどのようにして感染するのかを知っておきましょう。インフルエンザウイルスの感染経路は、飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染の2つがあります。

飛沫感染

- (1) 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出
- (2) 別の人が、そのウイルスを口や鼻から吸い込み感染



※主な感染場所
学校や職場、満員電車などの人が多く集まる場所

接触感染

- (1) 感染者がくしゃみや咳を手で押さえる
- (2) その手で周りの物に触れて、ウイルスが付く
- (3) 別の人が、その物に触って、ウイルスが手に付着
- (4) その手で口や鼻を触って粘膜から感染



※主な感染場所
電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど



当院では年1回職員のハワイ研修旅行を行っております。今回は10月28日から6日間の日程で、当院スタッフ2名に参加していただきました。今回の研修先はホノルルにある、聖ルカ・クリニックでした。この病院はハワイに在住の日本人の為のクリニックで、日英両語で診察が受けられます。今回、現地で働く医師や看護師の話聞き、またその施設見学を終え、忙しい職場を少し離れた異国の地で新しい情報を得て新鮮な気持ちになることができたようです。又、ショッピングやレジャーも満喫されていたようで心身共にリフレッシュできたのではないかと思います。



竹本病院ランニングサークル 100KMマラソン出場

10月19日四万十川ウルトラマラソンがあり、当院ランニングサークルの所属スタッフが参加させていただきました！コースの特徴は、最初の難関である20kmすぎの峠を越えると目の前には四万十川のパノラマが広がります。そこから川沿いに下り、途中欄干がなく増水時には川に沈む「沈下橋」を2カ所渡る山間コースとなります。当日は、たくさんのボランティアスタッフや沿道の皆様の惜しみない声援がランナーの背中をゴールまで後押ししてくれたそうです。写真では見えにくいですが竹本病院ランニングクラブとプリントされたTシャツを着て、皆さんがんばって走ってくれました。

第16回 竹本病院関連施設合同発表会 開催



平成26年11月1日に第16回合同発表会を中村地区建設協同組合会館にて開催いたしました。竹本病院では毎年一回、当院及び当院関連施設によって、業務に関わる研究発表の場を設けています。この年一回行われる「合同発表会」では毎年、様々な職種の方々に発表いただいております。日頃の努力の成果が見て取れる素晴らしい研究成果が挙がっています。又その研究成果を参考にしようと、近隣地域の医療、施設関係の方々が多数出席され、発表する側、聞き手側の両方に実りあるものとなっております。第Ⅱ部の講演では、講師として医療法人鳴子会・菜の花診療所の北村ゆり先生をお迎えして「認知症について」のテーマのもと、認知症症例が経験豊富な先生の体験談もふまえて、どなたでも理解しやすい内容であった為、大変有意義で興味深い講演でした。この合同発表会では施設を超えて情報を共有し、それぞれの立場から皆さんと一緒に考えて現場に持ち帰り、実践する機会になる事を目的に開催しています。

I部：演題発表

- ①レクリエーションについて
～病棟スタッフの意識調査を試みて～
渡川病院 看護師 岡村 恵
- ②地域包括ケア病棟転換後の取り組みを振り返る
竹本病院 看護師 今城 奈緒美
- ③質疑応答

Ⅱ部：講演

「認知症について」
講師：医療法人 鳴子会 菜の花診療所
北村ゆり先生



①レクリエーションについて
～病棟スタッフの意識調査を試みて～
渡川病院 看護師 岡村 恵



②地域包括ケア病棟転換後の取り組みを振り返る
竹本病院 看護師 今城 奈緒美



「認知症について」
講師：医療法人 鳴子会 菜の花診療所
北村ゆり先生

